

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
絵の具と水のハーモニー	絵	4	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。	☆ 知 絵の具に混ぜる水の量を変えて、描き方を工夫する。 思 描き方を試しながら、表したいことを考える。 学 描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	知 筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。 技 水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。 発 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地発よさから思いを広げて表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。 主 描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
みんなでつくろう ねん土ランド	立	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	☆ 知 粘土でできることを生かして、立体的な表し方を工夫する。 思 どんなねん土ランドにしたいのか考える。 ☆ 学 友達とアイデアを出し合いながら、つくることをたのしむ。	知 粘土に混ぜた水分を適度に、粘土でできる形や色がわかっている。 技 握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使える。 発 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。 鑑 つくりながら自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくることを楽しむ。 主 自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
にじんで広がるもののがたり	絵	4	白いクレヨンやバスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	☆ 知 にじみでできる形や色の組み合わせを工夫する。 思 にじみでできた形や色からお話を考える。 学 にじみで表すことをたのしむ。	知 クレヨンやバスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっている。 技 にじみでできる形や色やそれらの組み合わせをいろいろ試して、表現方を工夫して表している。 発 にじみでできた形や色の感じから自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品を見て、よさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。 主 にじみを生かして自分の世界を表す学習活動に進んで取り組もうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
トントンくぎ打ち コンコンビー玉	工	8	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。	知 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫する。	金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色の感じがわかっている。
				技 釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。	
				思 ビー玉が転がるたのしいコースを考える。	ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、発 釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。
				☆ 学 釘打ちの心地良さを味わいながら、みんなでコースづくりをたのしむ。	自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。
ふしぎな乗りもの	絵	8	身近なものがどんな乗り物になったら面白いか考えて、絵に表す。	知 乗り物の形や色などの描き方を工夫する。	釘を打つ感触を味わい、友達と協力して、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
				技 不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。	
				☆ 思 不思議な乗り物やお話を考える。	不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色の感じがわかっている。
				学 不思議な乗り物を描くことをたのしむ。	不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。
				発 身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。	身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。
				鑑 形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主 想像を膨らませることに関心をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。	想像を膨らませることに関心をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
光サンドイッチ	工	6	色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知 光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。	知 光を通す材料の形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。 技 光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりして表し方を工夫して表している。
				思 光を通した材料からつくりたい飾りを考える。	発 光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りを思いつき、どのように表すか考えている。
				学 光にかざしたときの材料の美しさをたのむ。	鑑 光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
					主 光を通したときの材料や飾りの美しさ味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。

うつしてふえるよ でこぼこさん	絵・版	10	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知 版のつくり方や写し方を工夫する。	知 身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっている。 技 身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色の組み合わせ方や写し方を工夫して表している。
				思 どんな「でこぼこさん」にするか考える。	発 「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりしている。 鑑 友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 版をつくったり、写したりすることをたのむ。	主 身近な材料の凹凸に関心をもち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
カラフルねん土でマイグッズ	工	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	<p>知 カラフル粘土を使って、つくり方を工夫する。</p> <p>☆ 思 カラフル粘土と空き容器を組み合わせて、たのしく使えるものを考える。</p> <p>学 カラフル粘土でつくることをたのしむ。</p>	<p>知 カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。</p> <p>技 これまでの経験を生かし、紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ったのしいものの表し方を工夫して表している。</p> <p>発 カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 つくったものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 つくる喜びを味わい、カラフル粘土で使ってたのしむものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>
のこぎりザクザク つないでつけて	工	8	角材をたくさんのこぎりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。	<p>☆ 知 のこぎりの使い方を知り、木切れの組み合わせ方を工夫する。</p> <p>思 木切れを組み合わせながら、つくりたいものを考える。</p> <p>学 のこぎりで角材を切ったり、木切れを組み合わせたりすることをたのしむ。</p>	<p>知 のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかる。</p> <p>技 のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切れの組み合わせ方を工夫して表している。</p> <p>発 切ってできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせて表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 木の感触を味わい、のこぎりで角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
未来にタイムスリップ	絵	6	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	知 瞬間に合った表し方を工夫する。 ☆ 思 夢をかなえた場面を考える。 学 自分の夢を表すことをたのしむ。	知 夢をかなえた瞬間を思い浮かべ、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっている。 技 描画材料を使った経験を生かし、夢をかなえた瞬間の場面に合わせて表し方を工夫している。 発 自分が夢をかなえた場面を思いつき、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品の造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。 主 自分の夢を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。